

■花伝票2 (実行ファイル名称=flower_assist_05.exe)

2013-12-24 DigitalWave 藤原
2014-01-11 追記△1 /04-18△2
2014-04-23 目次JMP修正
2014-05-13 1)出荷伝票に「備考」追加/2)マスターに行追加、行削除を追加 △3
2014-06-02 β版からRelease版へ(特に変更なし)
2014-07-30 1)データ一覧、2)年度更新の機能追加 △4
3)バックアップにZip圧縮形式を利用する為、Ionic.Zip.dllを追加

0・【目次】

[1・【概略】](#) 441

[2・【使用方法】](#)

[3・【画面説明】](#)

[0\)メイン画面](#)

[1\)ライセンス設定画面](#)

[2\)初期設定画面](#) (D:年度更新の機能追加) △4

[3\)品名マスター画面](#) (規格マスター、市場マスター、花マスターも同様)

[4\)伝票入力画面](#)

[5\)日報出力画面](#)

[6\)集計出力画面](#)

△4 [7\)データ一覧/削除](#)

△4 [8\)データバックアップ機能](#)

△4 [9\)その他、Access2003mdb変換など](#)

1・【概略】 基本的には花生産者用です。(花マスターにて内容変更するだけで他品目でも使用可能です。)

- 1) 毎日の伝票入力データを出荷伝票にします。
- 2) 日計のデータを元に累計本数、累計金額、坪単位金額等を×月～指定月まで花名、規格単位で集計します。
- 3) Windows8 タブレット端末での入力を想定していますので、数値入力は選択形式にして有ります。
(数量、金額はキーボードでの数値入力も可能にして有ります。)
- 2) 旧Access版でご利用していた
DBデータファイル[JA_Flower21_be.mdb][JA_Flower22_be.mdb]を利用する場合は、解凍フォルダに上書きしてください。
- 4) (Access版・花伝票のファイル)JA_flower21.mdb(日計データ)、JA_flower22.mdb(各種マスタ)をそのまま使用出来ます。
(展開後のフォルダ内の最初に入ってるデータは適当なサンプルデータ、2013-8/9/10を入れて有ります)
(【注意】但し、旧mdbに新規項目追加しますので、一旦花伝票2で使用した21_be.mdb、22_be.mdbはAccess版では使用できなくなります。)
- 5) インストーラを使わず圧縮ファイル展開フォルダ下の実行ファイルだけで動作します。
Windows環境: Windows7、Windows8.1で確認
(FlameWork2以上なら動作すると思いますので、WindowsXp、WindowsVistaでも動作すると思います。「推定」)
- 6) レポート出力をExcel、PDFで出力可能です。
(LibreOffice・Excelでも確認)
- 7) PDF出力ファイルをメール添付で送信出来ます。
(設定はMailDeliver.iniファイルで行います。)

2-【使用方法】

1) 圧縮ファイルを任意のフォルダで展開させると、\Dwave\flower_assist\フォルダーに下図の通りファイル展開します。

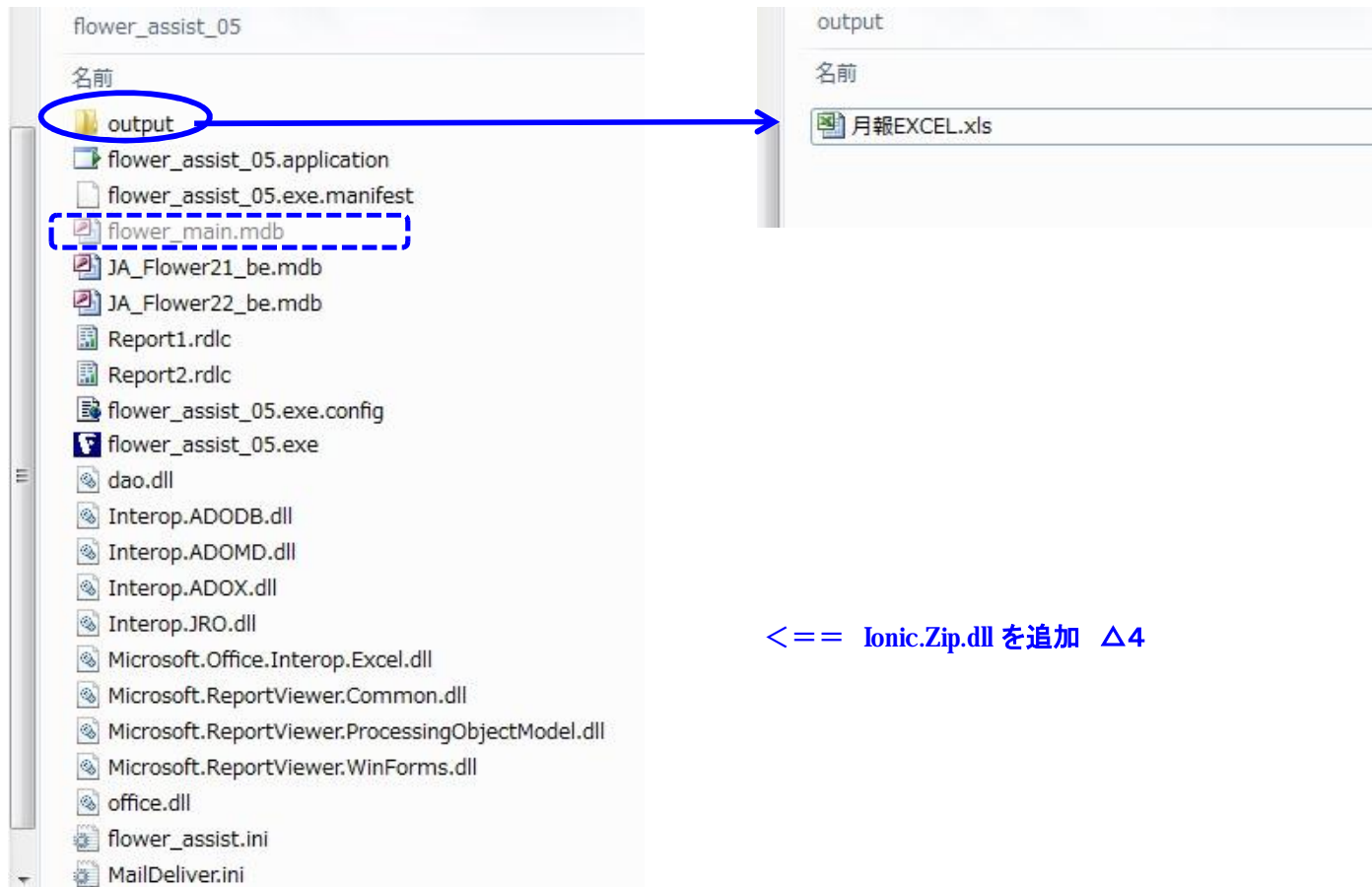
(但し、実行+読+書の権限あるフォルダで)

Windows7以降では圧縮Zipファイルは特別な圧縮・解凍プログラム無しで解凍できます。

Explorerやマイコンピュータで開く、ダブルクリックでDwaveフォルダが見えるのでこのフォルダを「実行+読+書」可能なフォルダにコピーします。

2) flower_assist_05.exeをクリックすると実行します。

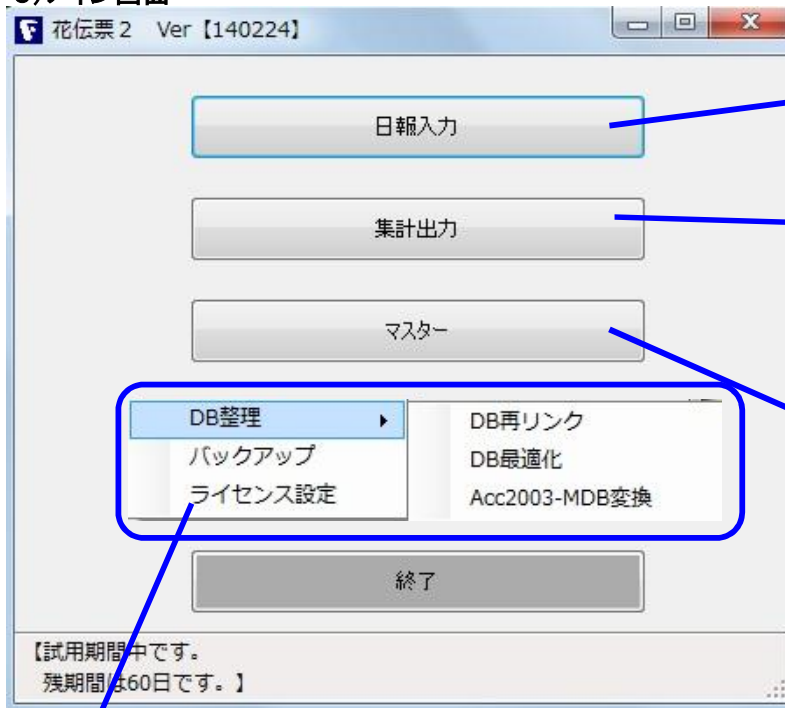
起動初回だけflower_main.mdbを作成しますので、少々時間がかかります。



<== Ionic.Zip.dll を追加 △4

3・【画面説明】

0)メイン画面



■画面上にて右クリックでこれが表示されます。

1・DB整理

- 1)「再リンク」・・・何らかの原因でDBリンクエラーが発生した場合
- 2)「DB最適化」・・・flower_main.dbのファイルサイズを縮小したい場合
- 3)「MDB」変換 mdbAccess97形式==>Access2003形式変換

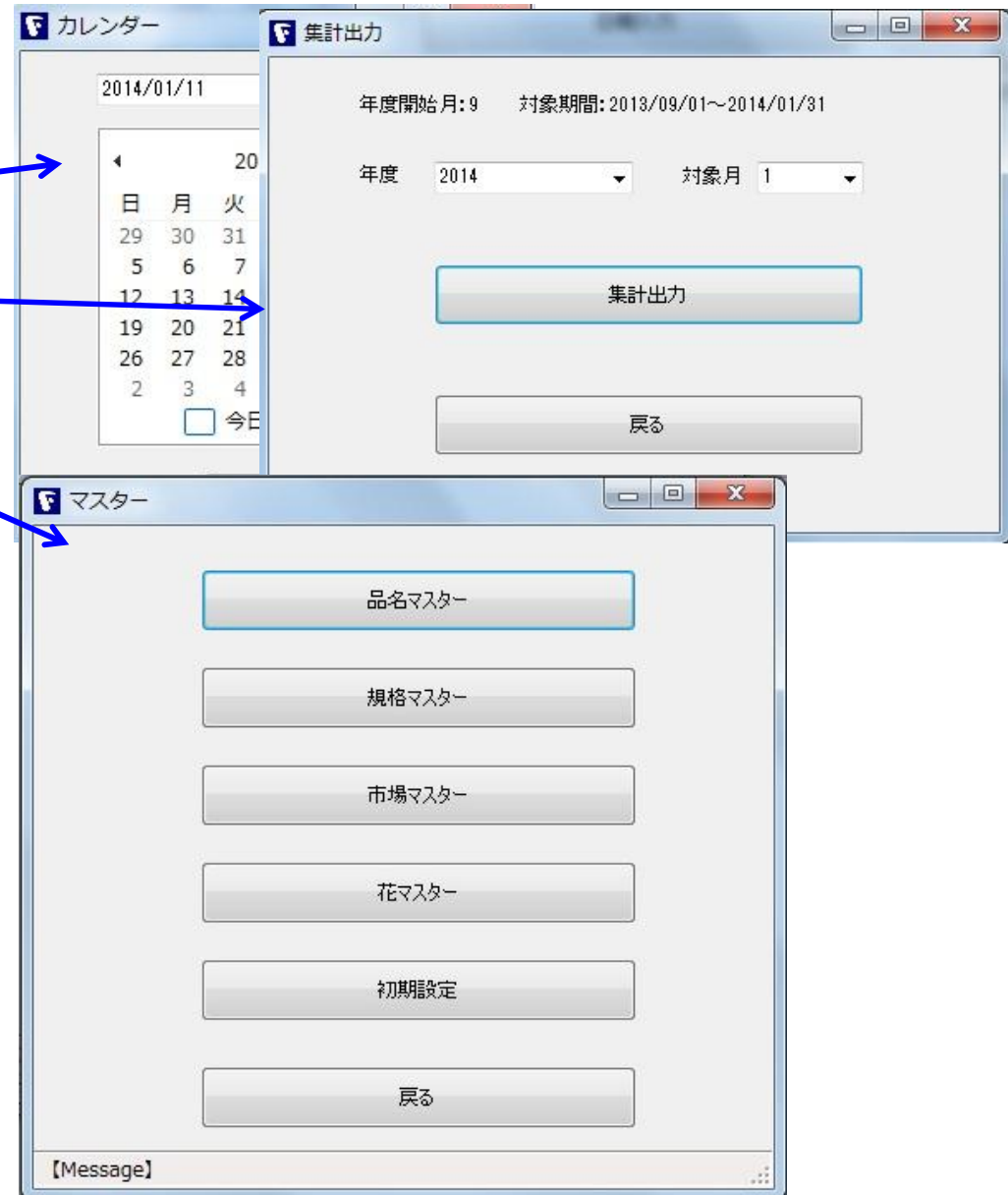
△4

2・バックアップ

プログラム終了時に自動データバックアップを取ります。
そのバックアップフォルダを指定する事が出来ます。

3・ライセンス設定

ご購入後に送られてきたライセンスIDを設定する画面です。



1) ライセンス設定画面

ご購入後に送られてきたライセンスIDを設定する場所です。
 (送られてきたIDはコピー&ペーストして入力してください。
 キーボードで入力は間違いの元になります。)

2) 初期設定画面

A・「DB初期値」

①花CD: (1:ガーベラ、2:バラ、3:キク、4:ラン、5:セントポー (選択BOXで選択します。))

【参考】花マスターにて内容変更するだけで他品目でも使用可能です。

②生産者CD: (各JA、組合等で割り当てがあるコード、無ければ00等でOKです。)

③対象年度: (現在は未使用なので、無視でOKです。)

④対象月: (集計区切りをする月)

例、初期設定で9月として、

集計画面で2013年8月で集計すると、2012/09/01~2013/08/31の期間を集計します。

⑤口座NO: 日報伝票、出荷伝票に記載する口座NOです

⑥総面積: 集計にて使用します。

⑦生産者名: 日報伝票、出荷伝票に記載する生産者名です

⑧複数市場使用: 出荷伝票を複数の市場に分けて出力する場合にチェックを入れます。(初期値はチェック無しです)

△2 ⑨出荷伝票のタイトル(記載無ければ、「生花類販売荷受書」となります)

△3 ⑩出荷伝票入力/出力に備考欄を使用するか否か

ID	花CD	生産者CD	対象年度	年度開始月	口座NO	総面積	生産者名	複数市場使用	伝票タイトル	備考使用
1	2	103	2012	9	1234567890	100	ABCDEFGH	<input type="checkbox"/>	あいうえおかきくけ...	<input checked="" type="checkbox"/>

B・選択BOX (「選択BOX」「メール」で数値を変更する場合はカーソルを当て、ダブルクリック後に数値変更できます。)

①入数: 1箱内の本数

②数量: 箱数

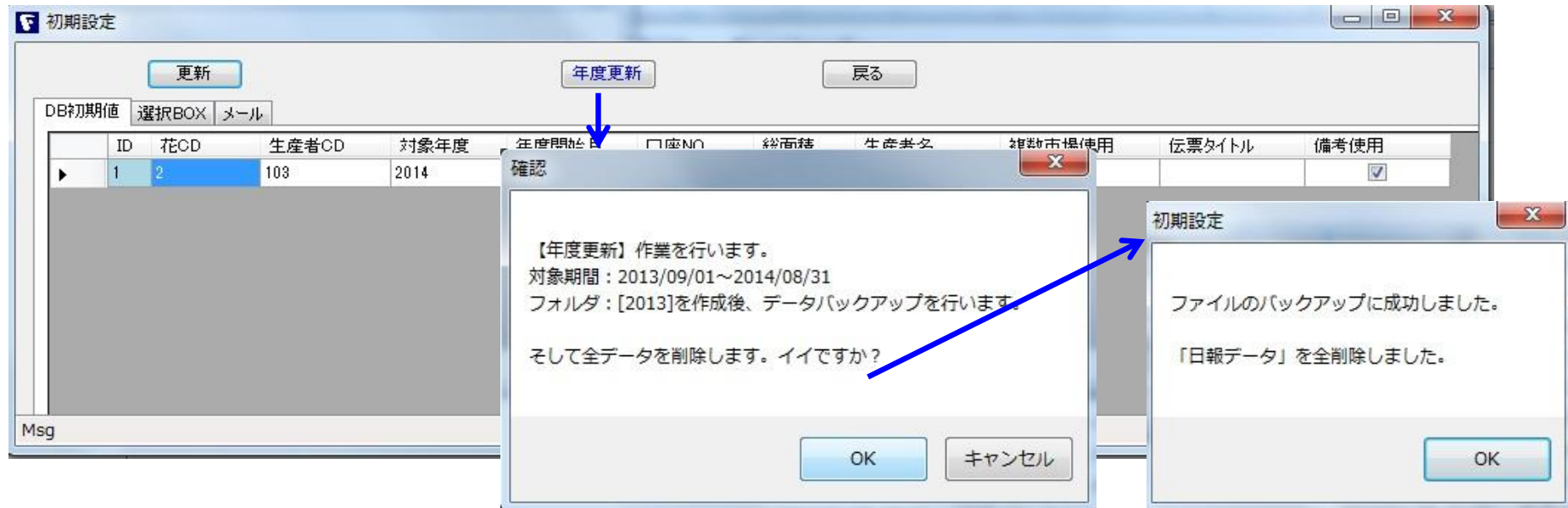
項目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
入数	50	100										
数量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	50	100

C・メール 出荷伝票をメール添付で使用される方は下記の赤枠箇所は必ず変更してお使いください。

■注意 ■このメール設定については「設定ファイル」を参照してください。

項目名	値
IntervalTime	1
SendGrp	5
SendPort	587
strAddressFile	
strHost	mail.ise-dwave.com
strMasterAddress	test_flower_assist@ise-dwave.com
strMasterPass	testflower4321
strMasterName	送信者名
strHeader	【送信件名】
strToAddress	123@test.com

- △4 D・年度更新 **年度が新しくなった時に、昨年度の日報データのバックアップを取り、データを削除する時に使用します。(■マスターはそのままです。)**
 バックアップフォルダは右記のとおりです バックアップ指定フォルダ ¥BAK\yyyy\output (■但しバックアップフォルダは書き込み可能な事)
 バックアップ指定フォルダ ¥BAK\yyyy\log



- 対象年度の前年度データをバックアップします。
- 年度更新時のバックアップは Zip圧縮しないそのままのファイル形式で保存します。

3) 品名マスター画面

①0~99までの品名入力可能
(100番は混合にして有ります。)

△3 3)-2 規格マスター画面

△3 3)-3 市場マスター画面

市場名は6文字以下にしてください。

△3 3)-4 花マスター画面

品名マスター

DB更新 行削除 行追加 戻る

Item_ID	品名	坪数
0		
1	ローテローゼ	100
2	ノブレス	300
3	サファイア	150

市場マスター

DB更新 行削除 行追加 戻る

市場コード	市場名	郵便番号	住所1	住所2	TEL	FAX	締め日	MAIL
1	台北市場	615-1111	台北	1111			0	1111@gmail.com
2	マカオ市場	615-2222	マカオ	2222			1	2222@gmail.com
3	シンガポール市場	615-3333	シンガポール	3333	077-123-456	077-456-7890	2	3333@gmail.com
4	香港市場	615-4444	香港	4444			0	4444@gmail.com

4) 伝票入力画面

①白列が入力可能な項目列です。

基本的には(タブレットでの操作を考慮している)数値選択形式になっています。

(「入数」、「数」の選択数値は「マスダ」-「初期設定」-「選択BOX」又は「flower_assist.ini」ファイルで設定できるようにしてあります。)

②ENTERキーで列方向へカーソル移動し、青色列はスキップします。 * ① 右クリック=>タブレットではタップ後長押

③「行追加」ボタンでデータ追加をします。(表の左端にて■行指定後、右クリックでも、最終行列ENTERでも自動行追加できます。)

④「行削除」ボタンで不要行を削除します。(表の左端にて■行指定後、右クリックでも行えます。)

⑤修正が必要な行は、行選択後にカーソル移動して数値を修正します。

⑥品名コード、規格コード、入数、数量を入力します。(後日、売価が判明した時点で金額を入力します。)

⑥行追加、行削除、画面終了時には自動でDB更新をします。(基本的には「DB更新」ボタンで更新する必要はありません。)

⑦「出荷伝票」ボタンでその日の伝票出力をします。

(伝票出力画面の表示時点で[output]フォルダに「日報伝票_YMMDD.pdf」ファイルが出力済みです。)

■注意 ■ 赤枠の箇所は「初期設定」-「DB初期値」-「複数市場使用」にチェックが入ってる場合に表示されます。

⑧「混合モード」:「混合SW」ボタンを押すとボタンが赤に変わり、再度「混合SW」ボタンを押すまで混合モードが継続されます。

「混合モード」時は、「箱NO」が自動的に採番された番号が入力され、「混合NO」には1が入ります。

「混合SW」ボタン押下時の表中カーソル列の入数が「設定入数」になり混合モードOFFまで入数はこの値がデフォルト値になります。

また何らかの問題で、「設定入数」を変更したい場合はキーボードを値変更 & ENTERキーで「設定入数」を設定変更できます。

「箱NO」を変更したい場合は「箱NO編集」ボタンを押して、要変更セルをダブルクリックで値変更できます。

編集が終わったら、「箱NO編集」ボタンをOFFします。

■注意 ■ 混合モード時には、下記以外はあり得ませんのでご注意ください。

○ 「入数」は同一箱内では同数

○ 「数量」は1箱

△3

ID	品名コード	品名	規格コード	規格名	入数	数量	箱NO	混合NO	金額	市場コード	市場名	備考
		ローローゼ	1	2L	50	1	0	0	0			あいうえお
		ローローゼ	2	L	50	1				2	マカオ市場	123456789

※ ②ダブルクリックで修正可能です。

5) 日報出力画面

(データの並び順は「箱NO」-「混合NO」-「品名コード」です。)

①メール送信ボタン

*「MailDeliver.ini」メール設定ファイルに記載した送信先にPDFファイルを添付して送信します。
 (「複数市場」選択BOXで何れかの市場を選択して「出荷伝票」を作成した場合は、
 「初期設定」-「市場マスター」で登録済みのメールアドレスが表示されます。)

②ファイル出力

*レポート・プレビューを開いた時点でPDFファイルは作成済みです。
 (「EXCEL」選択でファイル出力ボタンを押すとEXCEL出力されます。)

「初期設定」-「DB初期値」-「伝票タイトル」の内容が表示されます。無記入なら初期タイトル「生花類販売荷受書」が表示されます。

初期設定-市場名が7文字以上で御中は2行目になるのをご注意ください。

○通常の出荷伝票(【複数市場使用】にチェック無し(備考使用にチェック))

レポート・プレビュー

PDF [ファイル出力] メール送信 送信アドレス 123@test.com

生花類販売荷受書 1 / 1

出荷日 2014/05/13 品名 パラ
 コード 103 中箱 02 11
 氏名 ABCDEFGH

NO	品名	規格名	入数	数量	混合NO	備考
01	ローテローゼ	2L	50	1		あいうえお
02	ローテローゼ	L	50	1		123456789
03	ローテローゼ	M	50	2		
04	ローテローゼ	S	50	3		
05	ローテローゼ	S	50	1	* 1	
06	ノブレス	2L	100	0		
07	ノブレス	2L	100	2		かきつけあ
08	ノブレス	2L	50	1	* 1	
総本数		650	箱合計	11		

○【複数市場使用】で市場毎の出荷伝票(備考使用にチェック)

レポート・プレビュー

PDF [ファイル出力] メール送信 送信アドレス 3333@gmail.com

シンガポール市場 御中 生花類出荷伝票 1 / 1

出荷日 2014/05/13 品名 パラ
 コード 103 中箱 02 9
 氏名 ABCDEFGH

NO	品名	規格名	入数	数量	混合NO	備考
01	ローテローゼ	M	50	2		
02	ローテローゼ	S	50	3		
03	ローテローゼ	S	50	1	* 1	
04	ノブレス	2L	100	0		
05	ノブレス	2L	100	2		かきつけあ
06	ノブレス	2L	50	1	* 1	
総本数		550	箱合計	9		

6)集計出力画面

①出力形式を「Excel/PDF」を選択して「ファイル出力」ボタンを押します。

1)稼働PC内にMS-Excelが使用可能な場合
「月報EXCEL.xls」に毎月のシート追加されます。

2)稼働PC内にLibreOffice等のOpenOffice(フリー)が使用可能な場合
毎月のシート別にファイルが分かります。

品名	規格名	坪数	本数	金額	A単価	坪本数	坪金額	T本数	T金額	TA単価	T坪本数	T坪金額
ローテローゼ	2L	100	200	4,700	24	2	47	1,150	201,700	175	12	2,017
ローテローゼ	L	100	600	17,000	28	6	170	1,750	202,700	116	18	2,027
ローテローゼ	M	100	400	8,750	22	4	88	1,450	133,350	92	14	1,334
ローテローゼ	S	100	100	1,500	15	1	15	950	72,000	76	10	720
ローテローゼ	2S				0	0	0			0	0	0
ローテローゼ	曲	100			0	0	0	200	10,700	54	2	107
ローテローゼ		小計	1,300	31,950	25	13	320	5,500	620,450	113	56	6205
ノブレス	2L	300	550	0	0	2	0	4,000	499,650	125	13	1,666
ノブレス	L	300	1,450	20,800	14	5	69	4,950	465,650	94	16	1,552
ノブレス	M	300	11,050	741,100	67	37	2,470	14,100	1,064,500	75	47	3,548
ノブレス	S	300	550	2,000	4	2	7	1,950	109,500	56	6	365
ノブレス	2S				0	0	0			0	0	0
ノブレス	曲	300			0	0	0	100	5,000	50	0	17
ノブレス		小計	13,600	763,900	56	46	2546	25,100	2,144,300	85	82	7148

△2

表示スペースの都合上、略語で表示してありますが、下記はその説明です。

- A単価 平均単価(Average単価)=金額/本数
- T本数 指定期間の累積本数(Total本数)
- TA単価 指定期間の累積平均単価(TotalAverage単価)=T金額/T本数
- T坪本数 指定期間の累積坪本数(Total坪本数)=T本数/坪数

- T金額 指定期間の累積金額(Total金額)
- T坪金額 指定期間の累積坪金額(Total坪金額)=T金額/坪数

尚、【合計】欄のT坪本数、T坪金額は下記計算式で算出しています。

- T坪本数 = (T坪本数の合計)/総面積
- T坪金額 = (T坪金額の合計)/総面積

△4 7) データ一覧/削除

1) データを全て表示します。

(カレンダー「開始日」～「終了日」の条件で「データ表示」ボタンを押せば、条件に沿ったデータ一覧を表示します。)

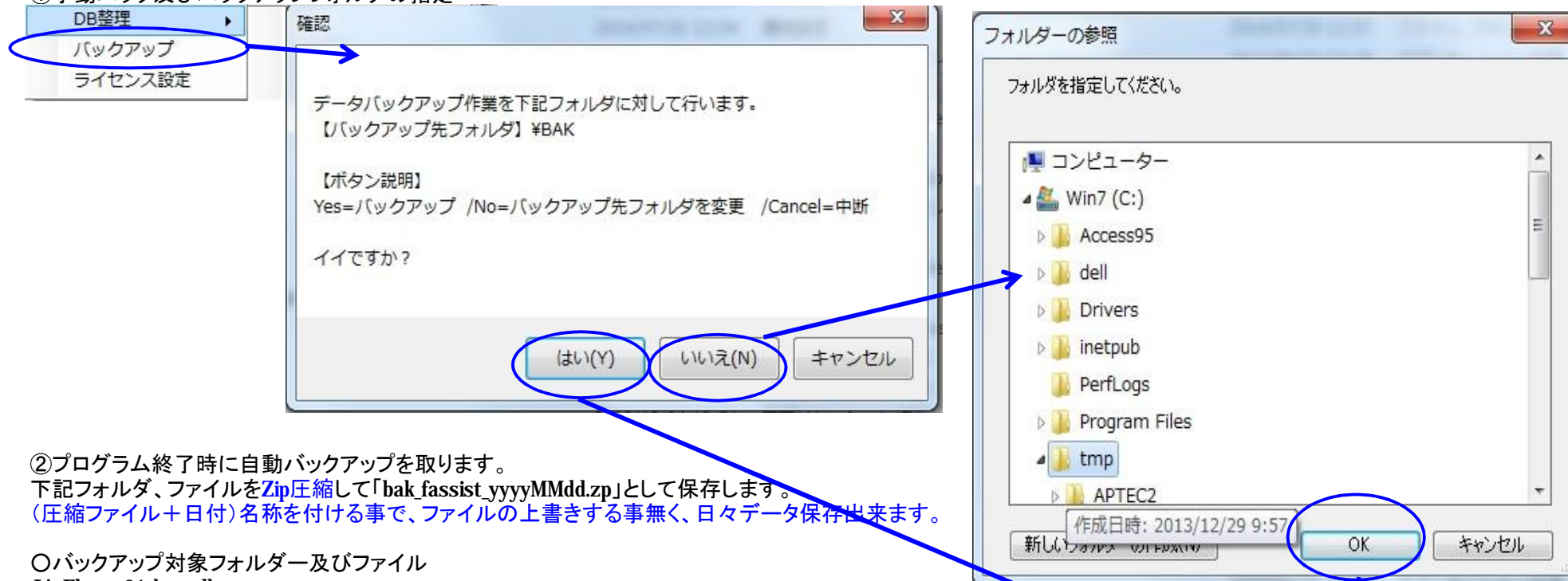
ID	日報_ID	日付	生産者コード	生産者名	品名コード
行削除	333	2014/05/12	103	ABCDEFGF	100
263	333	2014/05/12	103	ABCDEFGF	2
264	444	2014/05/12	103	ABCDEFGF	2
265	222	2014/05/12	103	ABCDEFGF	2
266	333	2014/05/12	103	ABCDEFGF	2
267	111	2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
268	444	2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
269	555	2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
270		2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
271		2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
272		2014/05/12	103	ABCDEFGF	5
273		2014/05/12	103	ABCDEFGF	3
274		2014/05/12	103	ABCDEFGF	3

2) データ削除方法(下記の2通りの方法があります。)

- ① 最左をドラッグして行を選択して、右クリックして「行削除」をクリックします。
- ② カレンダー「開始日」～「終了日」の条件で「データ表示」ボタンを押せば、条件に沿ったデータ一覧を表示後、「データ削除」ボタンを押します。

△4 8)データバックアップ機能

①手動バック及びバックアップフォルダの指定



②プログラム終了時に自動バックアップを取ります。
 下記フォルダ、ファイルをZip圧縮して「bak_fassist_yyyyMMdd.zip」として保存します。
 (圧縮ファイル+日付)名称を付ける事で、ファイルの上書きする事無く、日々データ保存出来ます。

○バックアップ対象フォルダ及びファイル

JA_Flower21_be.mdb

JA_Flower22_be.mdb

├─log

└─output

③バックアップの指定箇所

[flower_assist.ini]に記載してあります。

最初何も記載が無ければ「花伝票2」実行ファイルの「直下\BAKフォルダ」がバックアップフォルダになります。
 上記のとおりバックアップフォルダ指定後に下記のような記述を「flower_assist.ini」に記載します。

[BACK]

BKFOLDER=C:\tmp

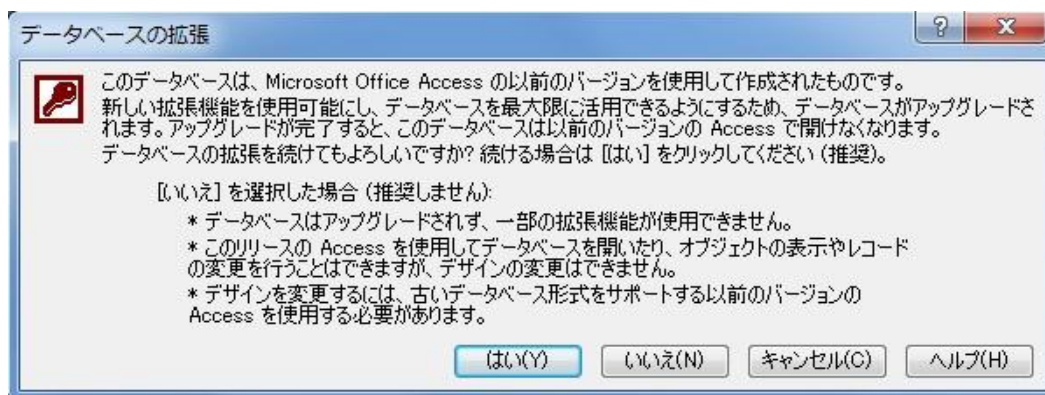
BK_AUTO=1

(■但しバックアップフォルダは書き込み可能な事)

==>このフォルダ\BAKがバックアップ保存フォルダになります。

==>1:終了時に自動バックアップ(初期値) 0:終了時に自動バックアップしない
 (但し、バックアップ成功のメッセージは表示しません。)

△4 9)その他、Access2003mdb変換など



上図は「花伝票2」-「Access2003mdb変換」にて変換した後、
[JA_Flowe21_be.mdb/JA_Flower22_be.mdb]をAccess2007にて開こうとした時のスナップショットです。

「はい」を押すと、ハングアップしてしまいます。

◎ 「いいえ」を押した後は、Accessにてデータ閲覧など問題無く出来ます。

■設定ファイルについて

2014-01-17 修正

1・花伝票・初期設定ファイル

(タブレット端末で使用する時は、選択する操作の方が容易だから、このような設定項目を用意しました。)

1)「flower_assist.ini」ファイルで下記項目を設定出来ます。

[PARAM]

Irisu =50,100

*(入力項目)「入数」選択BOXで選択可能な数値です

2)旧Access版のデータファイルを利用する場合は

DBデータファイル[JA_Flower21_be.mdb][JA_Flower22_be.mdb]を上書きしてください。

Suryo =1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,50,100

*(入力項目)「数量」選択BOXで選択可能な数値です

[LISENCE]

ID =guest

KEY =

*最初は「guest」が設定されており、試用60日で期限が切れます。

その後は「メイン画面」で右クリック(*注1)「ライセンス」をクリックして、「DigitalWave」から送られてきた「ID」を入力、SETしてください。

その時に「KEY」は自動的に記載されますので書き変えないでください。

*注1・「初期設定」画面ではダブルクリック

△4

[BACK]

BKFOLDER=C:\tmp

BK_AUTO=1

初期状態では「BACK」セクションは空白で、「花伝票2」実行ファイル直下\BAKがバックアップフォルダになります。

メイン画面、右クリックメニュー「バックアップ」でバックアップフォルダを指定時に記載されます。

1:「花伝票2」終了時に自動バックアップを取ります。 0:自動バックアップを取りません。

2・メール送信

1)メール送信設定ファイル「MailDeliver.ini」に従ってPDFファイル添付メール送信します。

2)「MialDeliver.ini」ファイルの説明

ご注意 ▲印の箇所をご自分のメール用に変更してください。

(=右側の文字列を変更します。)

[SEND_PARA]

IntervalTime =1

SendGrp =5

SendPort =587

▲送信メールサーバへのPort設定 (25 又は 587)

(ご使用のメール送信サーバの仕様を参照してください。)

(25はウイルスソフト、ファイアーウォールで閉鎖されている事が多いです。)

[PASS]

KEY =

[MAIL]

strAddressFile =	
strHost =mail.ise-dwave.com	▲メールサーバのホストアドレス
strMasterAddress = test_flower_assist@ise-dwave.com	▲メールアドレス
strMasterPass = testflower4321	▲メールパスワード
strMasterName = 送信者名	▲送信者名
strHeader = [送信件名]	▲送信件名
strToAddress =vasu ml2@ise-dwave.com	▲送信先相手のメールアドレス

■gmailメールアドレスを利用して、各種メールソフトで送受信する場合の設定内容

受信メール (POP3) サーバー	pop.gmail.com SSL:有効, ポート:995
送信メール (SMTP) サーバー	smtp.gmail.com 送信認証:有効, SSL (STARTTLS):有効 ポート:465 (SSL) or 587 (TLS) ※SMTPサーバーのみを使う用途も
アカウント名	(ログイン名) ○○○@GoogleApps独自ドメイン 先頭に「recent:」を付けると最新モードに。
名前(差出人名)	Gmail側の設定に関わらず何でも良い。
電子メールアドレス	(差出人アドレス) 良い(Gmailアドレス以外も可)。未設定のアドレスを入力するとデフォルトアドレスに書き換わる。
パスワード	Gmailのログインパスワード

- yahooメールアドレスを利用して、各種メールソフトで送受信する方法
<http://guide.mail.yahoo.co.jp/1st/mailsoft/02.html>

■花伝票2ご使用になる前のご注意

2014/1/11

(下図にて「flower_main.mdb」はありません。初回実行時に自動的に作成されるファイルです。)

使用方法

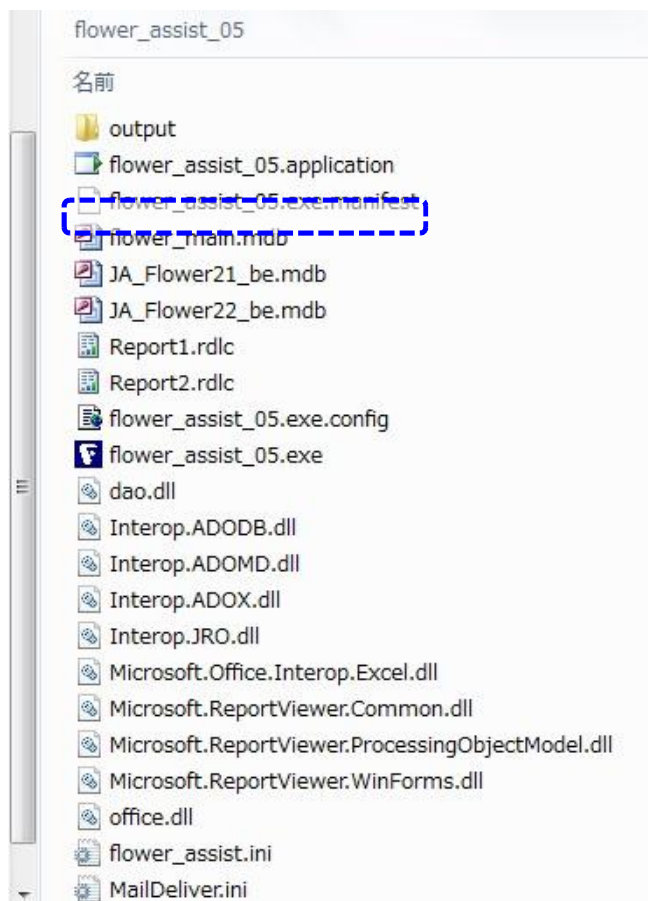
1)・配布圧縮ファイルを実行可能&読書き可能なフォルダで解凍します。

そして、そのまま実行ファイル(flower_assist.exe)をクリックして使用します。

2)旧Access版でご利用していた場合

DBデータファイル[JA_Flower21_be.mdb][JA_Flower22_be.mdb]を利用する場合は、解凍フォルダに上書きしてください。

(【注意】但し、旧mdbに新規項目追加しますので、一旦花伝票2で使用した21_be.mdb、22_be.mdbはAccess版では使用できなくなります。)



< == Ionic.Zip.dll を追加 △4